

平成 25 年度公開講座交流集会内容

セッション	テ　　マ	コーディネータ
1	避難所で行う妊産婦や母子への支援活動 ～開業助産師の実践知から学ぶ～(演習含む)	蛸崎奈津子 他 (母性看護学分野) 話題提供者: 佐藤ツセ子(ママドゥール助産院)
内 容	災害時の妊産婦や乳幼児を抱える家族は特別な支援を要する存在です。災害時、特に初期支援においては物質的にも限りがある中での活動となることから、これまでの実践知をいかした柔軟な発想が求められます。今回は災害初期の妊産婦や母子への支援について理解を深めた後、授乳室づくりや分娩介助の実際について体験を通して学び、考える機会としたいと思います。助産師に限らず、災害支援に関心のある方のご参加をお待ちしています。	
セッション	テ　　マ	コーディネータ
2	高齢者看護の連携 ～多様な場での看護～	千田睦美 他 (老年看護学分野) 話題提供者: 交渉中
内 容	高齢者の継続看護や退院支援においては、病院間の連携だけでなく、保健・医療・福祉間など多様な職種の間において、いかに効果的な連携を構築し、強化していくかが課題となっています。高齢者の看護および転入出における連携について、病院、高齢者施設、訪問看護ステーションに勤務する看護師を対象に、平成 21 年から調査を続けてきた結果を報告し、病院以外に勤務する看護師から連携についての提言をいただきながら、皆さまと一緒に、高齢者看護の連携について考えたいと思っています。	
セッション	テ　　マ	コーディネータ
3	療養場所の移行に伴う家族支援のコツ	三浦まゆみ 他 (家族看護学分野) 話題提供者: 柏木ゆきえ(日本赤十字秋田看護大学) 千澤美樹(岩手県立中央病院医療社会事業士)
内 容	急性期病院、回復期リハ病棟等の看護師は、患者・家族がおかれている状況をアセスメントしながら、療養場所の選択に関する意思決定を支援しています。しかし、家族の合意形成は一筋縄にはいかず、日々苦慮している看護師が多いのも実状です。このセッションでは、看護師が家族をどのように捉え、具体的にどのような支援を展開するかについて、関連職種と共に検討していきたいと思っています。	
セッション	テ　　マ	コーディネータ
4	養護活動の実践知を掘り出す ～現職養護教諭が学び続けることの意味～	堀籠ちづ子 他 (学校保健看護学分野) 話題提供者: 照井紀代子 (岩手大学教育学部附属小学校)
内 容	子どもたちの健康課題が多様化している中、養護教諭は日々子どもたちと向き合いながら様々な活動を行っています。本セッションでは、現職養護教諭が実践していることの根拠(エビデンス)を検証したいとの思いから研究に取り組んだことについて話題提供をしていただき、皆様と情報・意見交換を行いたいと思います。その後、養護教諭の資質向上を図るための養護実践活動について話し合いたいと思っています。	
セッション	テ　　マ	コーディネータ
5	コーチング・コンサルテーションの「知」と「技」	遠藤良仁・伊藤収 (看護教育・管理学講座)
内 容	目標管理やコミュニケーションスキルアップ等のために、看護実践の場に「コーチング」が活用され始めています。また、看護実践の場では、種々のストレス・葛藤を抱く場面が存在し、「コンサルテーション」も重要な実践の「知」として認識されています。本セッションでは、その「コーチング」と「コンサルテーション」を統合する、新たな実践の「知」と「技」の有効性を、看護管理者、プリセプター、実践指導者等の方達と共に検討したいと思います。	